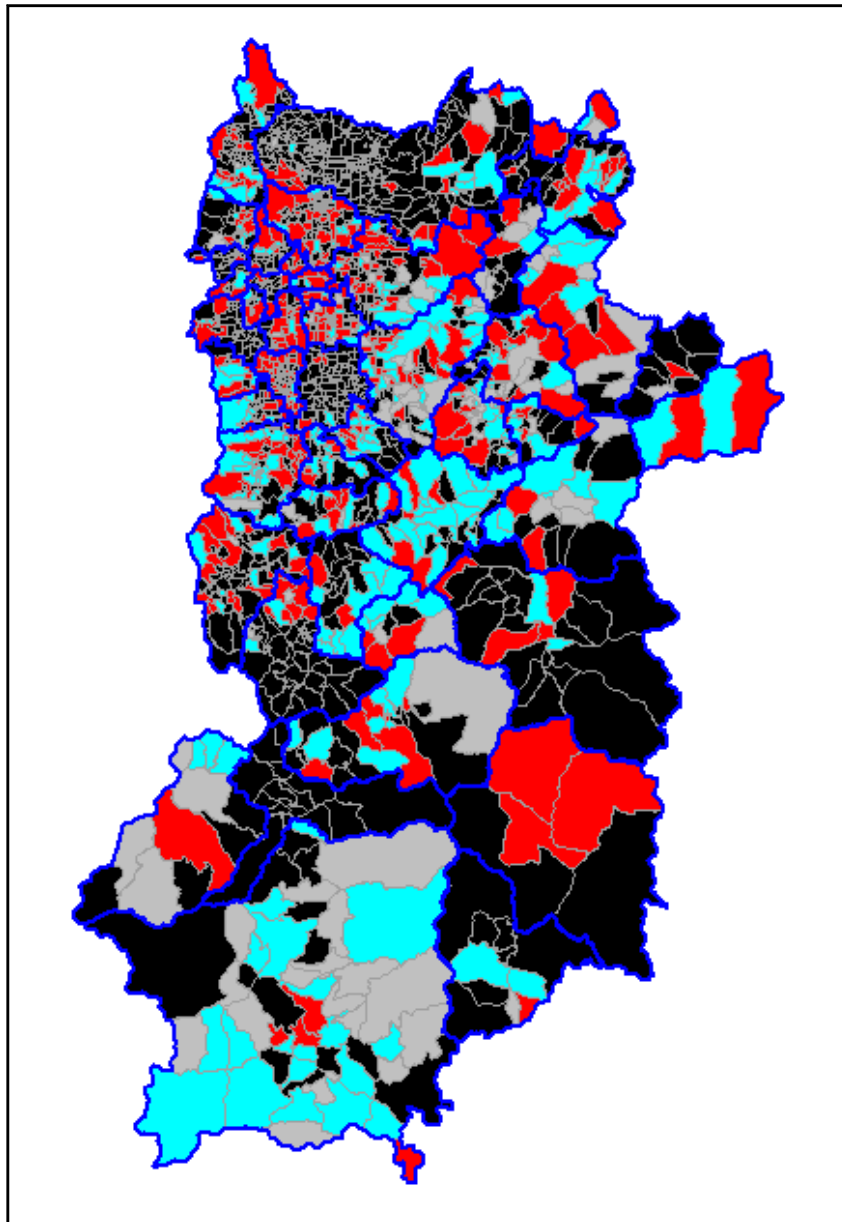


# 農業・林業集落アンケート調査によるムクドリの生息状況・被害状況 (平成24年度)

## 1. 平成24年度農業集落アンケート調査によるムクドリの分布



右図は、平成24年度の農林業集落アンケート調査による、ムクドリの分布である。

農業集落でムクドリが「いる」と回答があった場合に「いる」としている。回収無しには既に人が住んでいない集落も含まれている。

ムクドリは平地の平野から山地の都市部、人家近くの農耕地などに生息しているが、本設問の回答も概ねそのようなムクドリの生態を反映しており、「いる」との回答は、県北・中部部においてより多く見られる。

### 回答凡例

#### ・平成24年度

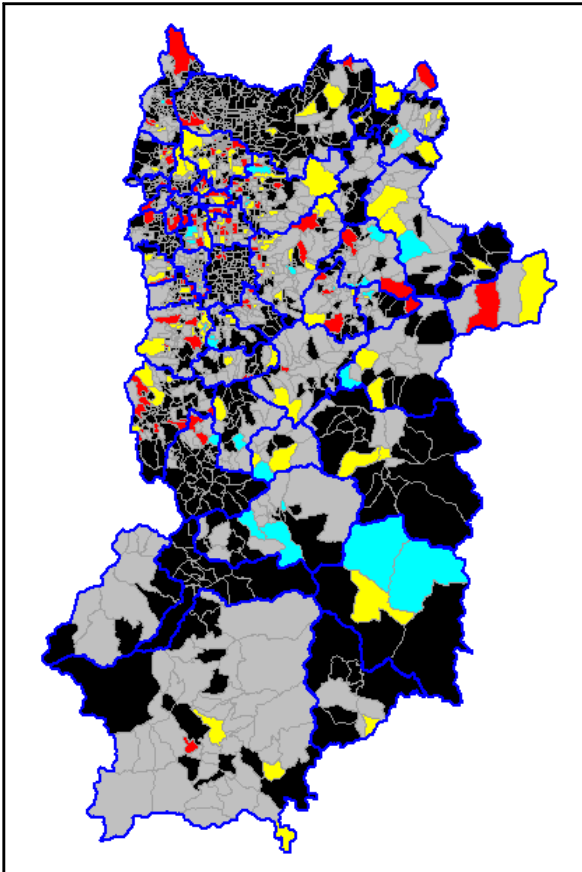
■ いる	359集落
■ いない	258集落
■ 回答無し	101集落
■ 回収無し	1090集落
全	1808集落

#### ・平成23年度

■ いる	346集落
■ いない	214集落
■ 回答無し	175集落
■ 回収無し	1073集落
全	1808集落

凡例 図中 青線 旧市町村界 旧市町村界内側の線 大字・地区界  
なお、この旧市町村界、大字・地区界の凡例は次項以降の図も同様である

## 2. ムクドリの農地への出没(平成24年度)



右図は平成24年度の農業集落アンケートによる、ムクドリの農地周辺への出没状況である。ムクドリが「いる」と回答があり、かつ本設問の回答があった251集落の内訳は下記の通りである。

ムクドリを「よく見る」という地域は、約44%であったが、ムクドリの分布の傾向と同様に、県北中部からが多くなっている。

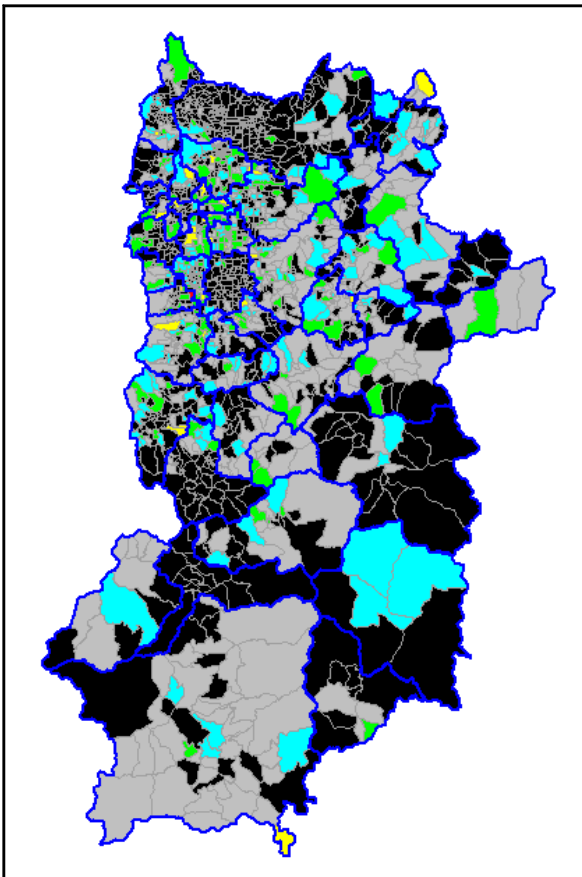
### ・平成24年度

よく見る	110集落(43.8%)
たまに見る	113集落(45.0%)
あまり見ない	28集落(11.2%)
回答数	251集落

### ・参考)平成23年度

よく見る	106集落(40.0%)
たまに見る	124集落(46.8%)
あまり見ない	35集落(13.2%)
回答数	265集落

## 3. ムクドリの農業被害の大きさ(平成24年度)



右図は平成24年度の農業集落アンケートによる、ムクドリによる農業被害の大きさの意識調査の結果である。ムクドリが「いる」と回答があり、かつ本設問に回答のあった346集落の内訳は下記の通りである。

前年度までと同様、ムクドリの農業被害は「ほとんど無い」が約52%となっており、「軽微」は約40%であった。「大きい」と「深刻」は併せても約8%であった。ムクドリの農業被害は発生しても「軽微」なものがほとんどで、状況によりごく一部で被害が大きくなるものと考えられる。

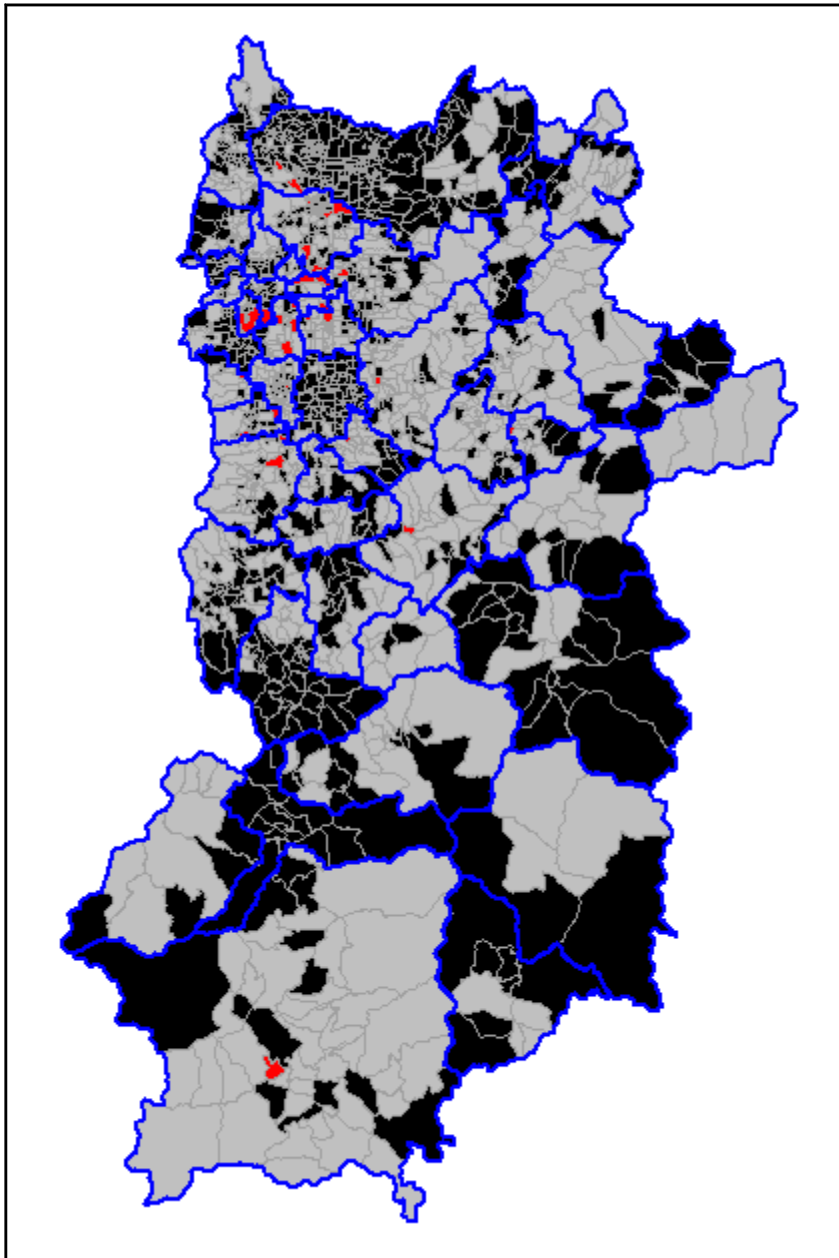
### ・平成24年度

ほとんど無い	178集落(51.5%)
軽微	139集落(40.2%)
大きい(生産量の30%未満)	28集落(8.1%)
深刻(生産量の30%以上)	1集落(0.3%)
回答数	346集落

### ・参考)平成23年度

ほとんど無い	184集落(55.9%)
軽微	128集落(38.9%)
大きい(生産量の30%未満)	16集落(4.9%)
深刻(生産量の30%以上)	1集落(0.3%)
回答数	329集落

#### 4. ムクドリの衛生被害(平成24年度)



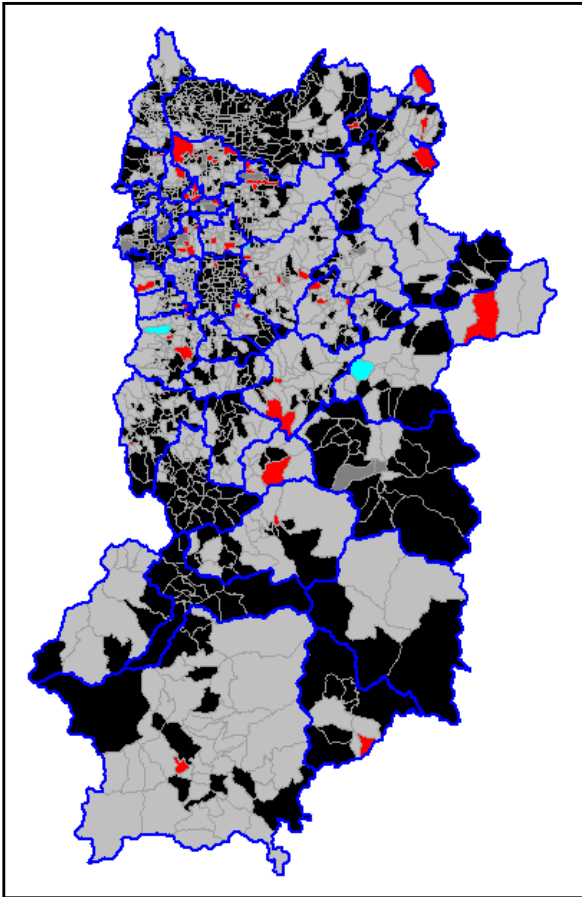
右図は平成24年度の農業集落アンケートによる、ムクドリによる衛生被害の意識調査の結果である。

近年、ムクドリが都市部の街路樹等に初夏から秋頃にかけて大群で集まり糞被害が問題になることがある。本設問は、「初夏～秋頃にかけて大群で近所に集まり、道路や家屋で糞被害が発生する」を衛生被害としている。

回答のほとんどは、県北西部の奈良盆地の都市部を中心とする地域からであった。森林整備課鳥獣保護係にはムクドリの衛生被害の相談が寄せられることが多いが、概ね本設問の回答があった地域からである。

- ・平成24年度  
■衛生被害がある 32集落
- ・参考)平成23年度  
■衛生被害がある 37集落
- ・参考)平成22年度  
■衛生被害がある 42集落
- ・参考)平成21年度  
■衛生被害がある 43集落

5. ムクドリの被害対策 防鳥ネットの効果(農地・平成24年度)



右図は平成24年度の農業集落アンケートによる、ムクドリの農業被害対策の、防鳥ネットの設置による効果の意識調査の結果である。

ムクドリが「いる」と回答があり、かつ本設問に回答のあった59集落の内訳は下記の通りである。

防鳥ネットは農業被害対策として、効果が非常に高いことがわかる。

・平成24年度

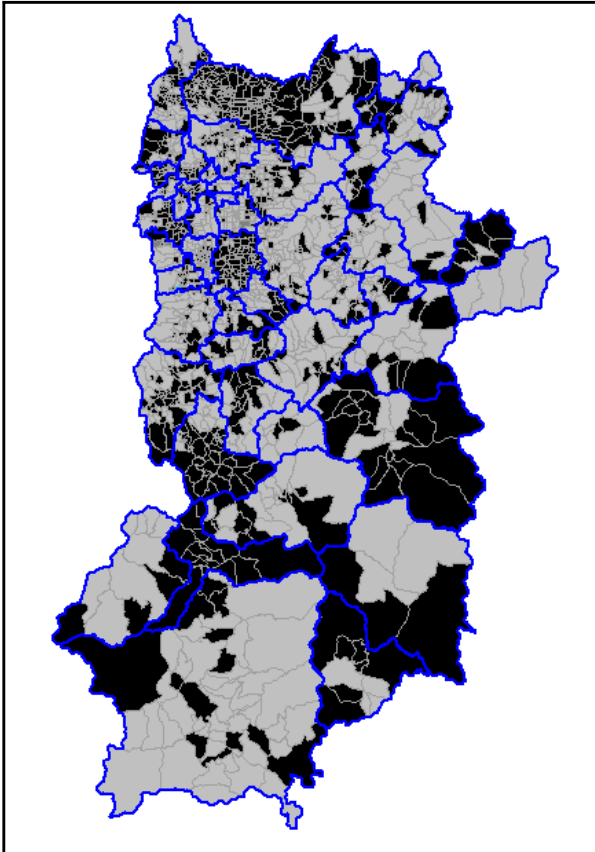
■ 効果があった	55集落
■ 効果がなかった	4集落
回答数	59集落

・参考)平成23年度

■ 効果があった	49集落
■ 効果がなかった	3集落
回答数	52集落

その他、テグスなどのラインを張り巡らすことや、爆音機、花火などを実施する事例がごく少数存在が、その効果はあったり、無かったりとなっていた。

6. ムクドリの被害対策 有害捕獲の効果(農地・平成24年度)



右図は平成24年度の農業集落アンケートによる、農業被害対策の、有害捕獲を実施した効果の意識調査の結果である。

本設問の回答は、本年度も1集落からのみであった。

・平成24年度

■ 効果があった	0集落
■ 効果がなかった	1集落
回答数	1集落

参考)平成23年度

■ 効果があった	0集落
■ 効果がなかった	1集落
回答数	1集落